CSRプロジェクト九州ブロック一斉清掃
兼不法投棄一斉清掃ボランティア事業
実施報告書

一般社団法人　佐賀県産業資源循環協会青年部

実施概要

日　　時　　：令和2年10月27日（火）　AM8:30～

場　　所　　：嬉野市塩田町山中

参　加　者　：全30名　青年部員22名（17社）・嬉野市職員2名
県職員2名・バルーナーズ様　3名+1匹

使　用　車　輌　：全9台　ユニック2・3t車2台、平ボディ2・3t車3台
ダンプ2.3車3台、アームロール5t車1台

取 材 メ デ ィ ア ：建設新聞社様

我々、佐賀県産業資源循環協会青年部（以下、青年部とする。）は九州ブロック産業資源循環協会青年部CSR2活動の一環で、「九州は1つ」を合言葉に不法投棄撤去ボランティアを行っている。

不法投棄撲滅を目指し、毎年県内各地で実施しており、今回で30回目の活動となる。
年々、不法投棄は減少傾向にあるが、未だ根絶には至っていない。

青年部では、先輩たちから引き継がれた活動を継続して、行政や地域との連携も図り、ボランティア活動を通して不法投棄撲滅を目指し、訴えていきたい。

～出発式～

当日、晴天に恵まれ清瀬部会長の挨拶に始まり、嬉野市市長、産業資源循環協会篠原会長の激励を受け、士気が高まった。

又、今年は本拠地を佐賀に構えるB.LEAGUEに所属する男子プロバスケットボールチーム「佐賀バルーナーズ」にもボランティアとして参加頂いた。

～作業前～
　作業現場付近にて最終確認を行う。事前に嬉野ごみ中継基地と打ち合わせた内容を基に、部会長が分別方法の説明を再度行い、安全第一で作業を行う様声掛けを行った。今回、佐賀バルナーズからボランティア参加してくれたバルタン君も真剣に話を聞いていた。

～撤去作業～
　道路上のガードレールから不法投棄されたと思われるゴミが緩やかな斜面一体に広がっていた。不法投棄されたごみは、缶・ペット・ビン・食品系ビニールの家庭ごみを主とし、テレビやタイヤ、ブルーシート等多岐に亘って投棄されていた。
部会員は、一つ一つ手作業で種類別にフレコン詰めし、ユニック車で吊上げ積込みを行った。

～撤去後～

～荷下ろし～

今回、コロナ禍という事もあり昼食の時間を設けず、撤去から荷下ろし分別と時間短縮で作業を行った。慣れない山中での作業で部会員にも疲労の顔が見れたが、不法投棄撲滅を目指し最後まで必死に作業を行った。

結果、**可燃ゴミ330kg・不燃ゴミ270kg・粗大ゴミ140kgで計740kgの**撤去となった。前年よりも数量は少なかったが、細々とした生活ごみが多く、不法投棄という行為がまだまだ身近にある行為だと感じさせられた。